

派遣留学生帰国報告書

* 復学後の情報を入力してください

記入日	2017年1月25日		
所属学部	法経学部		
所属学科・専攻	総合政策学科		

1. 留学先について

留学先大学名	アラバマ大学(The University of Alabama)				
留学先所属学部等	Arts and Sciences				
留学期間	出発日 8月7日	入学日	修了日	帰国日 12月27日	
住居	<input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他()				
	通学時間				<input checked="" type="checkbox"/> On campus
	通学方法	徒歩			
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> () 人部屋 <input type="checkbox"/> その他()			
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> リビング <input type="checkbox"/> その他()			
食事	自炊 20 %	学食 10 %	外食 30 %	その他 40 % (小等での無料の) * %で記入してください	
保険	海外旅行保険(名称)	ゼネラル保険			
	大学指定の保険(名称)	United Healthcare		<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入	
	その他				
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)				
	成田 ⇄ バirmingham(飛行機) ⇄ タスカルーサ(バス)				

2. 留学にかかった費用について

総費用	873,600	円	* おおよそでかまいません。			
出処						
自費	<input type="checkbox"/> 貯金	円	<input checked="" type="checkbox"/> アルバイト	58600 円	<input type="checkbox"/> その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/> 両親	300000 円	<input type="checkbox"/> 家族・親戚	円	<input type="checkbox"/> その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/> JASSO	400000 円	<input type="checkbox"/> その他名称()			円
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 千葉大学助成金	115000 円	<input type="checkbox"/> その他()			円

2-1. 財政管理の方法

渡航時 <input checked="" type="checkbox"/> 現金	円 <input type="checkbox"/> その他()	円
留学中 <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> キャッシング <input checked="" type="checkbox"/> その他()	送金不要でした)

2-2. 各費用の支払い方法 ex.)全額、クレジットカードで。

大学に払った費用	クレジットカード
住居にかかった費用	クレジットカード
その他	

2-3. 内訳 * 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			290000	円
海外旅行保険			50000	円
OSSMA			16200	円
査証・在留許可証	米ドル	160	18400	円
住居	米ドル	2900	320000	円
食費	米ドル	900	100000	円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費	米ドル	170	19000	円
その他大学に支払った経費	米ドル	931.5	105000	円
光熱費			0	円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円
その他 ()				円

3. 学業面 *必ず、後日、留学先の成績証明書と単位の互換認定が反映された千葉大学成績証明書を提出すること。

履修科目名 *全て。足りない場合には別紙に記入してください。	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定 申請の有無
1 Academic Writing	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
2 Academic Speaking	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
3 Introduction to Women Studies	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
4 Introduction to Global Studies	正規	3	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
5 World Dance	正規	2	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
6			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
7			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
8			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
9			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
10			<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

*登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

授業科目の選択で異なる点は、自分の学部や専門に関係なく、すべてのクラスから選べるという点です。また留学の半年前ほどにクラスを選択することを要求されましたが、実際現地についてから、また、クラスが実際に始まってから、クラスの様子を見たうえでクラス開始日2週間後ほどの締め切り日までに変更可能です。登録などは、千葉大と同じようにマイページのようなところからweb上でできます。エラーが発生する場合は留学支援のオフィスで登録してもらえます。

3-2. 授業内容、方法に関して

○Academic Writing: 授業で課されるようなエッセイの書き方や、英文読解のコツなどを実践を通して学ぶ。○Academic Speaking: 授業で課されるようなプレゼンテーションの作り方や、インタビュー等でのスムーズな英語の応答を実践を通して学ぶ。○Introduction to Women's Studies: 女性の社会的地位について、その歴史や現状を参考資料をもとに学習する。講義中は、全体で教授の投げかける質問に対して、学生が意見を発言するスタイル。○Introduction to Global Studies: 教科書を参考に世界中の国や地域の特徴を学ぶ。これを踏まえて週に一度3.4人の小グループでグループリーダーが考えてきた質問をもとにディスカッションを行う。またwebニュースで取り上げられている最新の世界のニュースに関する小テストも週一で実施。○World Dance: 先生が考えたヒップホップの振り付けを覚えて約2週間おきに振り付けの確認テストを実施。課題としてモダンダンスの鑑賞もある。

3-3. 語学力について

留学前の英語力試験の結果は申請に必要な最低限のスコアで、また留学直前まで就職活動を行っていて英語学習の時間も取れず、語学力には全く自信がありませんでした。派遣開始後、他の派遣留学生に比べても、もっとも語学力が劣っていたと思います。しかし半年という短い期間ではありますが、あいさつや簡単な会話はだいぶスムーズにできるようになりました。特に、日本の学校で学ばないような、ネイティブが使う自然な英会話ができるようになったと思います。

3-4. 図書館など学内施設について

アラバマ大学は田舎にあるので、キャンパスがとても広く、施設も充実しています。図書館は5つほどある、24時間開館のものもあります。日本でいうジム施設も充実していて、そこでは講師のもとヨガやエアロビクスも無料でできます。またキャンパス内とキャンパス周辺は、無料のバスを使って移動もできます。食事をする場所も豊富です。映画館や劇場、スタジアムも何でもあります。何より、どの建物も見たいです。

3-5. その他

図書館が24時間開館していると言いましたが、本当に勉強する環境が整っていて、素敵な場所だと思います。またキャンパス内には警察も循環しているので、遅くまで安心して勉強できます。

4. 生活面 * 気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

4-1. 住居について

オンキャンパスですが、寮というよりも、一軒家の見た目をしたRotary houseという家で、男女、留学生、アメリカ人学生混合12人でキッチン、リビング、ダイニング、ランドリーを共有して暮らしました。女子は少なかったため、個室は、通常2人部屋のところを1人で使用しました。シャワーとトイレは、隣の部屋の人と共同で、ドアでつながっています。広い家ですが、掃除もすべて自分たちでします。共有スペースが広いので、月一回の派遣留学生のイベント会場はこの家で開催されました。ほかの寮もそうですが、アメリカ人学生がバイトのような形で、住み込みで家の管理者をしています。Rotary houseは、教室の建物に近く、バスの拠点もすぐそばで、とても便利な立地でした。キッチンが一つなので、みなが自炊好きだと、ちょっと不便かもしれません。

4-2. 食生活について

多くはイベント等で無料で配給される食事をいただいていた。学内にはファストフード店がたくさんあるのですが、特別安いわけでもなく、栄養も悪そうなので、外食したいときにはキャンパス近く中華料理屋さんにいきました。また家が近いので、自炊もしました。しかし、友達と一緒に友達の家でご飯をつくることも多く、私の家で自炊をする回数はそれほど多くなかった気がします。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

学内のwi-fiは建物内では充実していました。建物をでるとつながりが悪いので、道中では不便でした。私は日本でSIMロックの携帯を使っていたので、アメリカ用にSIMフリーのスマホを事前に購入し、アメリカでSIMカードのみを購入しました。大手通信会社と契約をしてしまったのですが、割高だったと思います。Wi-fiのみで暮らしている日本人も多くいたので、携帯番号が必要でなければ、特に新しい携帯を用意する必要はないと思います。

4-4. 服装について

アラバマ州は温かいところなので、基本的には夏服です。通学時はアメリカの学生さんは、Tシャツに、ランニング用のショートパンツといったパジャマのような楽な恰好をしているので、私も真似していました。さすがに冬季には寒い日もちらほらでてきて、コートが必要な日もありました。また建物の中は、真夏でも、冷房のせいで極寒なので、常に上着は持ち歩いていた。スカートはパーティー以外では一切履きませんでした。

4-5. 健康管理について

特に気を使っていなかったので、風邪をひきました。日本からの薬も効かず、睡眠も効かず、1か月という長期間にわたって風邪が治りませんでした。やはり日本の薬では効かない別の菌があるようなので、無料ですし、学内の病院にかかればよかったと後悔しています。やはりビタミン不足にはなりがちなので、野菜やフルーツはしっかりとるようにしました。

4-6. 保険、OSSMAの利用 *利用実績等をご記入ください

事故はなかったなので、利用はしていません。

4-7. 課外活動について

学内外でイベントが多いので、毎日のように何かしらのイベントに参加していました。季節ごとのイベントや、毎週の英会話カフェなどです。また私はアメリカ人の友人から誘いを受け、バレーボールのチームに所属して試合に出ました。千葉大学のサークルの日のように、サークルが一斉に勧誘活動を行う日があるので、その時に興味深いものを探すこともできます。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

教会コミュニティとの交流が多かったです。聖書の勉強だけではなく、キャンプや試合観戦、季節ごとのイベントなど、レクリエーションをともに楽しみました。また、市内に住む家族とのマッチングを行ってくれる団体のおかげで、私もアメリカでの家族を得て、食事を共にしたり、冬休みにはホームステイのような体験をさせてもらいました。

4-9. 日本から持参してよかったもの

○割りばし: 箸がないときに便利でした。○ポカリスエット粉末やスープ粉末、乾燥味噌汁等: 勉強や風邪で自炊ができないときに便利でした。○南京錠: 南京錠をつけれるタンスがあり、預金口座を開設せずとも家の中で南京錠をつかってお金を管理することができました。○かゆみ止め: ベットのダニに刺されたとき役に立ちました。よく刺されます。○リュックサック: 通学はやはりリュックサックです。○ウェットティッシュ: 手を洗う習慣がなく、いきなり料理を手渡されたときに便利でした。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

○日本でいうおしゃれな服: 学校ではみんなパジャマなので、逆に恥ずかして着るタイミングがありませんでした。○かわいい髪ゴム: おしゃれをしないので、シュシュとかも派手に感じて恥ずかしくて使いませんでした。○デジカメ: iphoneで十分です。○ハンカチ: トイレには必ずペーパータオルがついていて、持ち歩いていても使うことがなかったです。○お金(ドル換金したもの): 本当にクレジット社会でした。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

アジアの留学生とヨーロッパの留学生で自然とグループが分かれてしまったので、やはり価値観の違いがあるのかなと思いました。アメリカ人の友人は皆とても優しく、困ったときはたくさん助けてくれました。日本人独特の遠慮はあまりいらないうで、むしろ正直に助けを求めたほうが喜んでくれることがわかりました。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行 * 複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

【ジョージア州(観光)】2016年9月(日帰り)、約1万円
 【フロリダ州(観光)】2016年12月(3日間)、約3万円
 【バージニア州(友人宅訪問&観光)】2016年12月(3日間)、約3万円
 【サウスカロライナ州(観光)】2016年12月(1日)、約1万円

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

キャンパスが広く緑も豊かで、キャンパスを歩くだけで気分転換、ストレス発散になりました。また運動施設も充実しているので運動をして汗を流してすっきりすることもできました。

5. 報告

5-2. 留学先大学について(150~200文字)

アラバマ大学のあるタスカルーサ市は田舎なので、キャンパスが広大で、緑だけではなく池や川も楽しめます。アメリカの国民的スポーツであるアメリカンフットボールの強豪校であるため、国内ではアラバマ大学は有名だそうです。アラバマ州は公民権運動の発祥地であり、アフリカンアメリカンの歴史や現状について取り扱う授業があるのも特徴的です。

5-3. 留学中の様子(450~500文字)

授業の始まる1週間ほど前にキャンパス内の寮に入り、授業開始まではオリエンテーション期間でした。この期間には、他国・他大学から集まった30人ほどの派遣留学生と、アラバマ大学の留学スタッフ、学生インターン共にキャンパスツアーや日用品の買い出し、レクリエーションなどを行い、いち早くアラバマでの生活に馴染むことができました。授業が始まると、アラバマ大学の学生と同様の講義を1学期間受講しました。私は、英語による学術的なエッセイの書き方や、効率的な英文読解方法、また、スライドを利用したプレゼンテーションの作り方、正しい発音方法を実践を通して学ぶAcademic Writing、Academic Speaking、ジェンダー問題を取り扱うIntroduction to Women's Studies、世界各国各地域の問題や異文化について学ぶIntroduction to Global Studies、実技のダンスを学ぶWorld Dance、これらの講義を受講しました。予習復習、課題が山積みなので、基本的には勉強漬けの毎日ですが、昼休みや放課後には、多くのイベントが大学内で開催されていて、現地の文化や学生との交流の機会を得ることができました。大学外でも、教会コミュニティを中心に留学生を支援してくださって、そこで、留学中たくさんお世話になった仲良しの友達もできました。

5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

留学はしたいが、まだ行動に移せていない人は、ぜひ英語試験対策を今すぐに始めてほしいと思います。私はなかなか試験対策に手が付けられず、ぎりぎりのスケジュールで派遣留学の申請をすることになりましたが、もし早めに始めていれば、スコアが上がり、派遣先も、留学のタイミングも、より多くの選択肢から選べたのと思います。また、私費での留学と悩んでいる人には、強く派遣留学をおすすめします。なぜならば、派遣留学は語学留学ではないため、語学学校に通わず、現地の学生さんと同様の授業を受け、専門知識の学習をすることができるからです。アラバマ大学には語学学校もあり、そこには日本人がたくさんいましたので、自分の状況と比べることができたのですが、語学学校では他国から来た留学生同士の交流が中心になってしまうので、より派遣先国の文化、生活を経験できるのは、派遣留学だと思いました。

5-5. 留学を終えて * 派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどなんでも。

留学を終えて、私はこの派遣プログラムを利用して大変良かったと思いました。一般の私学留学とは違って、専門分野の学習が目的であり、事前準備で留学目的を明確にすることができました。また、派遣留学は社会勉強の場にもなりました。留学支援室の支援は多大なるものでしたが、とはいっても、各派遣生の派遣先はバラバラで、自分の派遣先大学の詳細やシステムは各自が責任をもって把握しなくてはなりません。ビザや飛行機、保険の手配も自己責任です。したがって、今まで人に頼りっぱなしだった私にとっては、この派遣留学は準備段階から最後まで冒険の繰り返しで、正直、大変で面倒だなと思ったこともありましたが、社会人になる目前で貴重な自立への一歩を踏み出す機会となりました。今後の目標は、この留学でお世話になった人たちに恩返しをすることです。内定先で、世界中のより豊かな社会づくりのために奮闘したいと思います。